



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,689	△1.8	327	△31.6	382	△25.3	264	△17.0
27年3月期第1四半期	4,772	2.4	478	△11.9	512	△12.6	319	△6.8

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 229百万円 (△32.9%) 27年3月期第1四半期 341百万円 (△48.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.26	—
27年3月期第1四半期	16.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
28年3月期第1四半期	34,387		28,829		83.8		1,443.11	
27年3月期	34,269		28,771		84.0		1,440.91	

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 28,829百万円 27年3月期 28,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	9,560	△0.6	830	△6.6	900	△7.7	730	17.7	36.56	
通期	19,960	1.5	2,190	24.4	2,330	19.1	1,780	82.1	89.14	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	20,680,000 株	27年3月期	20,680,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	702,620 株	27年3月期	712,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	19,968,675 株	27年3月期1Q	19,918,306 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景とし、緩やかな景気回復基調にはあるものの、比較的順調であった平成27年1月～3月期と比べると、ギリシャ債務危機に伴う欧州の景気悪化を受け、中国経済の減速が鮮明となり、日本から中国向け輸出が減少したことから、鉱工業生産指数も低下する可能性が強まっており、景気は目先、足踏みが予想されます。更に、当社の売上、利益と関係の深い主要原材料である非鉄金属相場も中国経済後退に伴う実需の減、欧州の通貨危機に伴う投機マネーの引き揚げ等から下落傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓に取り組むとともに、海外においては前期末に減損損失等を計上したネクサス・エレケミック社の早期立て直し、サイアム・エヌケーエス社における新製品の安定生産・販路拡大・更なる追加品目としての新製品の立上げに努めました。また、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の本格稼働への迅速な対応を目指すとともに、価格競争力を増すための全社挙げての低コスト体質強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比で83百万円1.8%減の4,689百万円、営業利益が前年同四半期比151百万円31.6%減の327百万円、経常利益が前年同四半期比129百万円25.3%減の382百万円、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益は、東京電力から除染費用の補償金21百万円を特別利益に計上しましたが、前年同四半期比54百万円17.0%減の264百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化や生産拠点の海外シフトの影響等により伸び悩みましたが、海外（タイ）子会社のサイアム・エヌケーエス社における新製品が軌道に乗り始めたことから、売上高は前年同四半期比22百万円0.6%増の3,950百万円となりました。

利益面では、国内においては、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工が本格稼働したことにより固定費負担が一部軽減されたものの、生産数量の伸び悩みに加え、非鉄金属相場低迷による採算低下から大幅減となり、海外（タイ）子会社においても、サイアム・エヌケーエス社は収益が向上したものの、ネクサス・エレケミック社が依然としてパソコン関連需要の低迷により営業損失の状況から脱却できず、薬品事業全体の営業利益は前年同四半期比99百万円29.3%減の240百万円になりました。

[建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響で新設住宅着工戸数が依然として低調に推移したことにより、住宅関係の主力製品である防火通気見切り縁が減少したことや新製品の伸び悩みがあり、売上高は前年同四半期比106百万円12.6%減の738百万円となり、利益面でも、前述のように採算面で影響の大きい主力製品の防火通気見切り縁の減少等により、営業利益は前年同四半期比56百万円22.8%減の192百万円という結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、棚卸資産、売上債権が減少したものの、現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比184百万円増の21,252百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が既存設備の減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比90百万円減の5,731百万円と減少し、投資その他の資産では投資有価証券が一部株価の下落に伴い減少しましたが、長期預金が増加したことにより前連結会計年度末比26百万円増の7,345百万円となり、固定資産全体では前連結会計年度末比66百万円減の13,135百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ118百万円増の34,387百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比84百万円増の4,394百万円となり、固定負債が前連結会計年度末比24百万円減の1,163百万円となったため、全体で前連結会計年度末比60百万円増の5,558百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末比58百万円増の28,829百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.0%から83.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移していることから、第2四半期連結累計期間・通期ともに平成27年5月14日公表の予想から変更いたしていません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,714,968	11,494,492
受取手形及び売掛金	6,408,936	5,980,913
商品及び製品	1,242,297	1,127,753
仕掛品	1,064,955	1,014,989
原材料及び貯蔵品	1,375,396	1,359,024
繰延税金資産	169,169	168,688
その他	93,252	107,803
貸倒引当金	△1,750	△1,660
流動資産合計	21,067,226	21,252,005
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,114,141	2,034,396
その他(純額)	3,708,202	3,697,563
有形固定資産合計	5,822,344	5,731,960
無形固定資産		
	60,770	58,154
投資その他の資産		
投資有価証券	3,896,489	3,814,357
繰延税金資産	5,816	7,224
その他	3,418,041	3,525,545
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	7,318,778	7,345,557
固定資産合計	13,201,892	13,135,673
資産合計	34,269,118	34,387,678
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,317,031	2,177,686
短期借入金	535,614	926,414
未払法人税等	287,265	145,292
賞与引当金	315,000	139,458
役員賞与引当金	20,000	6,250
債務保証損失引当金	8,673	8,673
その他	825,863	990,601
流動負債合計	4,309,447	4,394,377
固定負債		
繰延税金負債	732,325	703,403
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	258,085	262,686
資産除去債務	115,412	116,065
その他	72,878	72,057
固定負債合計	1,188,234	1,163,745
負債合計	5,497,682	5,558,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	607,788	613,116
利益剰余金	25,637,354	25,722,346
自己株式	△285,205	△281,812
株主資本合計	26,993,937	27,087,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259,075	1,203,501
為替換算調整勘定	479,877	501,571
退職給付に係る調整累計額	38,545	36,833
その他の包括利益累計額合計	1,777,499	1,741,905
純資産合計	28,771,436	28,829,555
負債純資産合計	34,269,118	34,387,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,772,804	4,689,082
売上原価	3,718,525	3,768,967
売上総利益	1,054,279	920,114
販売費及び一般管理費	575,696	592,624
営業利益	478,582	327,489
営業外収益		
受取利息	4,106	6,234
受取配当金	26,828	33,303
不動産賃貸料	7,326	14,587
その他	4,902	14,464
営業外収益合計	43,163	68,590
営業外費用		
支払利息	3,442	2,862
売上割引	2,619	2,841
賃貸収入原価	2,448	6,987
その他	775	783
営業外費用合計	9,285	13,475
経常利益	512,460	382,605
特別利益		
固定資産売却益	1,082	25
受取補償金	—	21,384
特別利益合計	1,082	21,409
特別損失		
固定資産除却損	2,205	2,404
特別損失合計	2,205	2,404
税金等調整前四半期純利益	511,338	401,610
法人税等	192,314	136,910
四半期純利益	319,023	264,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,023	264,700

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	319,023	264,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,619	△55,574
為替換算調整勘定	△26,058	21,693
退職給付に係る調整額	655	△1,712
その他の包括利益合計	22,216	△35,593
四半期包括利益	341,239	229,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,239	229,106
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円:千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,928,035	844,768	4,772,804	—	4,772,804
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,928,035	844,768	4,772,804	—	4,772,804
セグメント利益	340,277	249,220	589,498	△110,916	478,582

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,916千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円:千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,950,691	738,390	4,689,082	—	4,689,082
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,950,691	738,390	4,689,082	—	4,689,082
セグメント利益	240,664	192,423	433,088	△105,599	327,489

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,599千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。